

赤潮プランクトン情報（第 1 5 報）

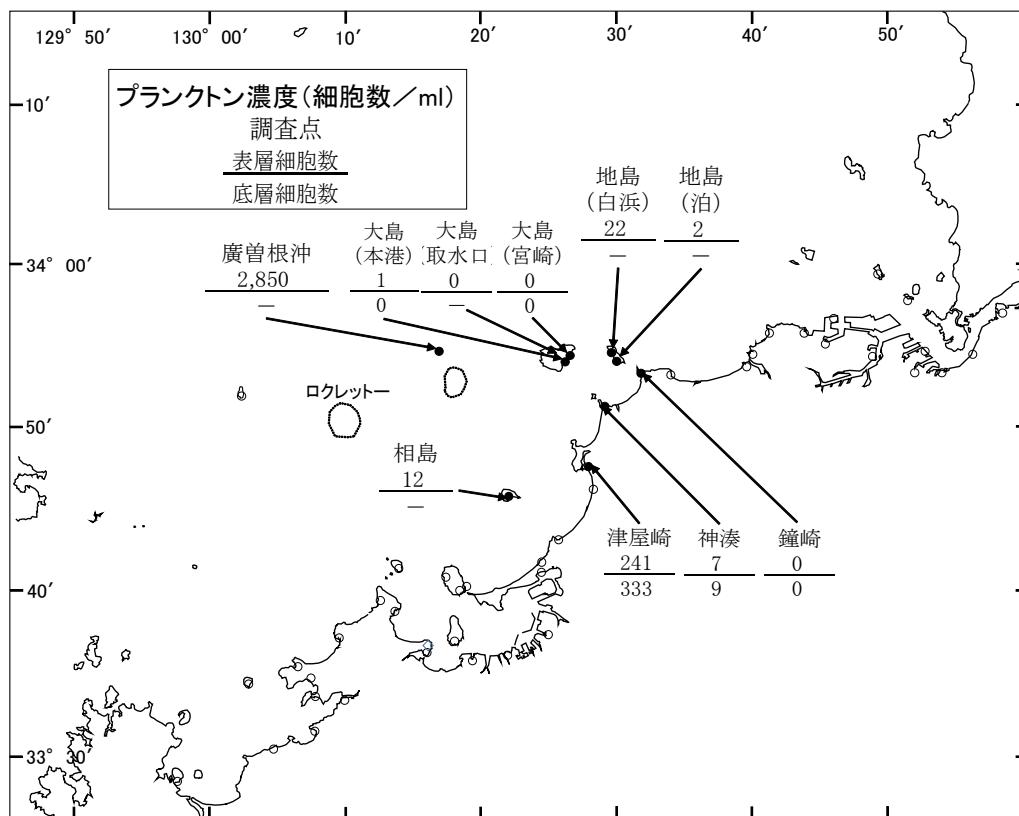
福岡県水産海洋技術センター

平成 2 7 年 7 月 2 2 日

平成27年7月22日に粕屋及び宗像地域の海水を調査したところ、魚介類に有害なプランクトン（カレニア ミキモトイ）が発生しており、一部の漁場ではイケマの魚類の斃死が報告されています。

カレニア ミキモトイは表層で着色が見られなくても中・底層でも高密度に増殖する可能性があります。現在、県内の全ての漁場や漁港内でカレニア ミキモトイが急激に増殖しかねない状況にあります。魚類や貝類は蓄養せずに出荷するなど十分に注意して下さい。

*カレニア・ミキモトイは魚介類に有害で、500細胞/mlを越えると魚介類がへい死することがあります。特にアワビ、サザエは数10細胞/mlでもへい死することもありますので注意が必要です。



漁場でアワビが弱ったり、海水が着色していた場合などは当センターへ至急連絡願います。また別途、被害状況を集約中です。各組合で取りまとめの上、お手数ですが至急、報告してください。

連絡先 福岡県水産海洋技術センター
研究部 資源環境課 秋本・恵崎・杉野・里道・片山
092-806-0884